

杜の都の環境をつくる審議会  
第5回「仙台市みどりの基本計画」改定検討部会 議事概要

日 時：令和2年12月18日（金）10時00分～12時00分

会 場：東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館） 602 中会議室

出席委員：舟引部会長、小貫委員、近藤委員、福岡委員、渡邊委員（計5名）

欠席委員：池邊委員

事務局：建設局次長、百年の杜推進部長、百年の杜推進課長、  
同課全国都市緑化フェア推進担当課長、同課主幹兼企画調整係長、同課緑化推進係長、  
同課緑地保全係長、公園課長、同課公園整備担当課長、同課主幹兼施設管理係長、  
同課公園マネジメント推進係長、河川課長（計12名）

## 1. 開会

○事務局（岡田課長：百年の杜推進課）

—開会—

—議事録署名人の指名，傍聴ルールの説明—

・議事録署名人：舟引部会長，渡邊委員

## 2. 議事

### (1)次期仙台市みどりの基本計画中間案（素案）について

○事務局（菅原主任：百年の杜推進課企画調整係）

—資料1，資料2について—

○事務局（菅原主任）

- ・池邊委員に事前説明をした際、就業者に対するポストコロナの視点がないことや在宅ワークにあたり仙台は他都市と比較して優位であること、基本方針4「みどりとともに人が育つまち」の取組みで市民参加が可能なものはコミュニティガーデンづくりだけではないこと、都市緑化フェアにおいては他都市にはない仙台のセールスポイントが何か考える必要があることなどの意見があった。

○小貫委員

- ・池邊委員の意見に対する仙台市の考えを教えてください。

○事務局（岡田課長）

- ・基本方針2「みどりで選ばれるまち」において、ポストコロナの視点が少し足りなかったと感じている。感染リスクが少ない生活様式を仙台の強みとしてもう少し明確に示したい。
- ・緑化フェアに向けて「花とみどりのアドバイザーの養成講座」を今年度から始め、市民活動のリーダーを育てる取組みを始めている。そのようなことも含めて市民とともに作る緑化フェアに向けた取組みを進め、また計画の中でもそれをもう少し表現したい。

○小貫委員

- ・「みどりとともに人が育つまち」で市民が参加する取組みはコミュニティガーデンづくりだけでは無いという意見もあった。これは環境意識の高揚やSDGsのような考え方の普及など、人が育つという観点が抜けているということではないかと思った。

○事務局（岡田課長）

- ・「みどりとともに人が育つまち」では、人が育つことや人を育てることなどを考慮した、もう少し大きな視野で表現したい。

○近藤委員

- ・仙台でテレワークがどれほど定着するか疑問である。コロナによる行動変容を単純な形で捉えてはいけないと思う。

○事務局（岡田課長）

- ・コロナの影響による地方都市と都心の状況をふまえながら、仙台の良さをアピールすることに取り組んでいきたい。

○渡邊委員

- ・仙台では感染経路がよく分からない場合もあるが、それなりに見えているという感覚がまだある。それが東京、大阪、名古屋のような大都市圏と状況が異なる場所だと思う。

○小貫委員

- ・みどりの配置構想図で示されている内容が、みどりの将来イメージ図では表現しきれていないと思う。
- ・例えば、配置構想図にある「市街地を縁取るみどり」が、将来イメージ図に描かれていない。また、配置構想図で川沿いがみどりで示されており、川沿いをみどりで繋げたいという考えがあったと思うが、具体的な姿をイメージできない。前回の計画において、避難道路にさらにみどりを植えたいという話があったが、それもあまり見えない。
- ・将来イメージ図では、ちょっと無理をするぐらいでもいいため、例えば市街地でみどりのフリンジをつくりたい、こういう街路樹を張り巡らせたいなど、伝えたいことや想いを明確に示すべきだと思う。
- ・計画と整合性があり、かつ見せたいことが分かるような絵にする必要があると思う。

○事務局（岡田課長）

- ・将来イメージ図では、仙台市が奥羽山脈から太平洋まで河川で繋がっている中に存在しており、今後、街路樹や建築物緑化、緑化重点地区のみどりに力を入れることにより、仙台市がみどりに包まれた形で存在する将来の姿を表現した。

○舟引部会長

- ・みどりの将来イメージ図単体では良いが、配置構想図と比較すると頭で翻訳する作業が必要となる。みどりの将来イメージ図とは別に、この図と構造図を重ね合わせた図があるとわかりやすくなるかもしれない。

○福岡委員

- ・資料2の「1. グリーンインフラの定義」が狭いと思う。みどりの基本計画素案ではみどりの空間整備など設えの話に加え、コミュニティや社会関係資本に関わる内容となっている。そのため「都市基盤として活用するという考え方（取組み）」を、例えば「持続可能で魅力ある都市や地域づくりの推進に活用する」とするなど、基本計画が目指す“Greenest City SENDAI”と掛け合わせた記載することが良いと思われる。また、今回新しい内容として盛り込まれたみどりの雨水対策のための基盤整備として、下水や道路などを含めて分野横断でみどりをつくっていくことを打ち出すと良いと思われる。
- ・基本方針4「みどりとともに人が育つまち」の指標として、プレーパークの拡充、子どものためのみどりの環境、民地のみどり、園庭など、コミュニティとみどりを結びつける場づくりに関するものがあると良いかもしれない。公園愛護会など組織の話に言及することも考えられる。どのように記載するのが良いかはわからないが、目標としては具体的に記載した方が良いと思われる。
- ・基本方針5「みどりを大切にすまちなち」の指標は、ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント開催件数だけで、目標値も6件であるため寂しく感じる。今後は緑化フェアも開催されるが、例えば街中におけるみどりと花に関する取組みを1,000回以上行うということも考えら

れる。目標はもう少し広い範囲が関わる内容とした方が良いと思う。

- ・P108 などの緑化重点地区の図は従前からの変化が見えない。P108 や 110、112、119 の図や P91 からの区ごとの図において、5 つの基本方針をどのように捉え、取組みを進めていくかを示すことができると良い。現在の内容は、整備の話が主眼になっていると思われるが、上位の考え方を示すことで、地区スケールでやるべきことが見えてくると思う。
- ・P116 に公園マネジメントに関することが記載されており、これは基本方針 4 や 5 に関わることであるが、公園だけではなく民地のみどりを含む街全体のみどりのマネジメントにも言及した方が、グリーンインフラを推進する事業として網羅できる。基本方針 4 と 5 の視点がちょっと弱く、計画に記載がないと実現もできないため、大まかな内容であっても記載した方が良いと思う。

#### ○事務局（岡田課長）

- ・グリーンインフラの定義は、総合計画におけるグリーンインフラの定義もふまえながら検討したものである。
- ・基本方針 4 の指標については、数字を入手できるもので考えていたが、もう少し具体的な内容を検討する。
- ・基本方針 5 の指標については、「ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント開催回数」が 6 回となっているが、緑化フェアの開催もあるため、対象を広げて検討する。
- ・P116 の公園マネジメントでは、公園に係る内容のみであったが、この章の構成は「緑地保全」、「都市緑化」、「公園」、「街路樹」となっていたため、それらの中などで公園以外のグリーンインフラについて記載を検討する。

#### ○事務局（岡本次長）

- ・第 3 章のグリーンインフラの推進に係る関連事業の進め方について、基本方針との関連を整理して示したい。

#### ○福岡委員

- ・良いことがたくさん記載されているが、計画の構造や実現するための方法などを読み取るのが難しいため、関係性を示すとわかりやすくなると思う。
- ・世田谷区では、1 時間あたりの雨量に対するみどりによる雨水流出抑制量を何mmにするか検討している。基本方針 1 の目標値に雨水流出抑制量として 1 時間あたり 1,500 m<sup>3</sup>とあるが、これは実感しにくい数字である。この数字を決めた過程を知りたい。
- ・仙台市の中で雨水対策が特に必要な地域をふまえながら、みどりによる対策を考える必要がある。雨庭を点で整備していてもあまり効果が期待できない。流域でやる方法、豪雨対策の中でやる方法、地区計画の中に入れ込みまちづくりの枠組みでやる方法などが考えられる。

#### ○事務局（岡田課長）

- ・1 時間あたりの雨水流出抑制量 1,500 m<sup>3</sup>は、下水道部局と調整して設定した。世田谷区のように時間何mmで示すことができれば、一般の人にもわかりやすくなると思うが、現時点ではこのような形でしか示すことができなかった。
- ・今後、世田谷区のように下水道計画の中にみどりによる流出抑制量を位置付けすることや、それによりグレーインフラの規模を縮小するような計画策定を目指したい。
- ・仙台市では、副市長をトップに下水道部局と河川部局が中心となって雨水対策委員会を組織しているが、その中でグリーンインフラによる雨水流出抑制についても検討しているため、働きかけを行っていききたい。

#### ○福岡委員

- ・現在、国において緑の基本計画について議論しており、仙台市の計画に注目していると思う。踏み込んだ内容にできると、他の自治体への良い刺激になると思う。

#### ○舟引部会長

- ・「第3章 グリーンインフラの推進に係る関連事業の進め方」は、基本方針や重点的な取り組みを各区などの担当セクションが行うにあたっての繋ぎとして位置付けしたものであるが、本編において区別の方針の後に記載されているため、わかりにくくなっていると思われる。また、5つの基本方針を第3章においても繋げることができると良い。
- ・グリーンインフラの狭義と、仙台市がグリーンインフラに求める事柄を書き分けた方が良いかもしれない。概要版の第1章「グリーンインフラの推進」の2)において、昔から仙台ではグリーンインフラが表す内容を実践してきており、それがまちの構造の構造となっているというこれまでの歩みをふまえ、未来へ向けてグリーンインフラを哲学レベルにまで広げていきたいというような形で整理できると良いかもしれない。

#### ○福岡委員

- ・1)については、推進戦略等色々な議論が進んでいるため、5つの基本方針もふまえてもう少し広い定義にして良いと思う。
- ・2)については、これまでのことは記載されているため、これからのことをもっと記載すると仙台市の姿勢が見えるようになり良いと思う。結びにある「求められます」は客観的な表現のため「私達はこうしていきます」などの表現の方が良いと思う。

#### ○渡邊委員

- ・基本理念の副題にある「みどりを育むひと」が内容にあまり表れていないように思う。施策体系では12番になると思うが、環境教育、杜の都教育を他部局と連携しながら行うことができると良いと思う。

#### ○事務局（岡田課長）

- ・副題の「みどりを育むひと、みどりが育むまち」は、グリーンインフラを意識したもので、みどりを市民がつくり、そのみどりが市民に様々なものをもたらすというサイクルを表そうとしたものである。「ひと」をもう少し押し出せるようにしたい。
- ・現在、環境や子ども関係の部局と協議を行っているが、まだ教育にまでは話しが及んでいない状況である。今後検討を行いたい。

#### ○舟引部会長

- ・基本方針5「みどりを大切にするまち」に記載されている「普及啓発の強化」は上から目線に感じる。教育も含めてどのように人を巻き込んでいくかということ表現できると良いと思う。
- ・もしコロナの影響で首都圏から人が移ろうとしたときの受け皿になりうることを発信していかなければならないと思う。子どもが「うちのまちはこんなに良いよ」と言えるような、杜の都の発信を戦略的に行うということが入っていると良いと思う。

#### ○小貫委員

- ・概要版第1章に記載されている課題③において、維持管理に関して多用な主体と連携することが挙げられているが、これに関する内容が評価にはないため、加える必要があると思われる。これも「人」に関する内容だと思う。
- ・基本方針1の指標の目標値である雨水流出抑制量1,500 m<sup>3</sup>を達成するためには、どのようなことをすれば良いのか。例えば通常の舗装をどれくらい透水性舗装へ変えると良いのか。イメージが難しいため教えてほしい。

#### ○事務局（水嶋主幹）

- ・今後10年間で、仮に公園100箇所において面積の約3割に浸透施設を設置すると1,500 m<sup>3</sup>という数字になる。

○舟引部会長

- ・R1の基準値が0とならないか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・現状でも公園において雨水の流出が抑制されており、あえてR1の基準値は記載しなかった。

○小貫委員

- ・基本方針5の指標である公園施設改修件数の目標値が延べ1,200公園となっているが、平均すると年間120公園の改修を行う必要があり、今の計画でも改修が進んでいないこともふまえると、実現が難しいのではないか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・1つの公園に対して複数回改修に入ること、今後、照明灯の改修を行うことをふまえて算出した数字である。

○小貫委員

- ・公園を利用するため照明灯の改修も大事であるが、指標として適切とは言い難いのではないか。みどりの基本計画のため、みどりともっと関わりのある指標を検討してほしい。
- ・基本方針4の指標は限られた人を対象としているが、例えば「市民がどれだけ公園を使うようになったか」などもっと一般的な指標にできないか。

○事務局（岡田課長）

- ・基本方針4では子育て、コミュニティを掲げているため、指標としてもそれらを重視したいと考えて設定した。実際に数字として入手できるものに限られるということもあるが、一般的な指標についても検討したい。

○舟引部会長

- ・ポンチ絵が一般論で表現されており、今後10年間に取り組むべき新しいプロジェクトを表現できていないと思う。プロジェクトはできるだけ絵として表現した方が良いと思われる。市民やマスコミに対して新しく変わったところをシンプルに表現できるようになる。

○小貫委員

- ・P62の「市民・市民活動団体・事業者に期待される役割」が上から目線のような感じがする。「一緒にやっぺいこう」という雰囲気のある表現になると良い。一緒にやることで、基本方針4にある「みどりとともに育つ」ことに繋がってくると思う。

○福岡委員

- ・西公園で行われている公園マネジメントや、広瀬川流域の活動、街なかの緑化、市庁舎の建替えなど、仙台市の中で進んでいる計画や取組みをふまえた内容にできると良いと思う。その上で、これまで行ってきた地区スケールの計画や取組みに対して新しい5つの基本方針を加味して、敷地スケールの事例を示すと良いと思う。事例は巻末の付録または本編に記載することが考えられる。そのような流れを工夫して記載できると、何かやってみようという動きに繋がると思う。
- ・世田谷区では4年前に豪雨対策計画を作成して1度見直しを行っているが、もう1度作成する。前回の計画のレガシーは、雨水の流域対策に緑地を位置付けたことである。世田谷区の公有地は大規模なものがなく、道路や公園しかない。また、下水道は東京都の所管のため踏み込むのが難しい状況である。約3年動いて市内連携の組織が立ち上がった。現在、豪雨対策として浸透トレンチや雨水タンクの設置に対する助成があるが、雨庭を設置した場合も助成対象とすることを検討している。このように住宅スケールも含めて検討しているが、これは住宅地が6~7割ある世田谷区ならではのケースであり、仙台市とはまちの構造やみどりの骨格が異なるため、仙台市でやるべきことはまた違ってくると思う。

○小貫委員

- ・仙台市においてグリーンインフラが機能するために必要な取組みとその実施場所について、もう少し検討する必要があると思う。基本計画をまとめるまでには間に合わない場合は、今後の検討課題として記載しておく必要があると思う。
- ・P45の「杜の都のグリーンインフラ」はどこのまちにでも当てはまる内容が記載されている。仙台の課題に対する方策としてのグリーンインフラを描きこんだ図が望ましい。そのようにして初めて「杜の都のグリーンインフラ」と呼ぶことができると思う。

○事務局（岡田課長）

- ・グリーンインフラに関する取組みに関し、どこで何をするか具体的に記載するようにしたい。また、今回の計画策定までに検討しきれなかったものについては今後の検討事項として記載する。

○事務局（菅原主任）

—仙台市居住経験者に対するみどりのアンケート調査結果、仙台市のみどりに関する企業アンケート調査結果について—

○事務局（岡田課長）

- ・このアンケート結果を計画に反映させるわけではないが、基本方針2「みどりで選ばれるまち」や基本方針3「みどりを誇りとするまち」について考察する際のベースとして使用したいと考えている。

○小貫委員

- ・子供未来局において、子どもの遊びの環境に関する保護者アンケートを実施しているようだが、これも活用できると思うため、その結果を教えてほしい。

○渡邊委員

- ・速報とあるが、今後まとめる予定はあるか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・まとめる予定である。

○舟引部会長

- ・市民意識等という項目があるため、最新の内容を反映させた方が説得力が出る。

○事務局（岡田課長）

- ・反映させる。  
—閉会—